

貯法	室温保存
----	------

承認指令書番号	26動薬第1992号
販売開始	昭和45年2月

消化機能障害治療剤

ビオペア®

BIOPAIR

【本質の説明又は製造方法】

消化機能障害は、家畜の疾病中で最も多くみられ、それによる損害は非常に大きい。特に胃機能障害は、十二指腸以降の消化機能に大きな影響を与えるため、その改善を図ることが重要な治療指針となる。

「ビオペア」は、塩酸ペタインと耐酸性消化酵素により、給与される飼料を有効に活用させ、多くの消化機能障害を改善する。

【成分及び分量】

本剤は、1g中顆粒A 300mgおよび顆粒B 700mgを含有する。

顆粒A 300mg中

塩酸ペタイン 200mg

顆粒B 700mg中

含糖ペプシン 300mg (たん白消化力500単位以上)

でんぶん消化酵素 17mg (でんぶん糊精化力70単位以上)

繊維素消化酵素 17mg (せんい素糖化力5単位以上)

糖化菌 (*Bacillus mesentericus*TO-A) 42mg (1.5×10^7 個以上)

【効能又は効果】

消化器疾患、消化器衰弱、食欲不振、食欲不振における症状改善、消化不良、単純性下痢

【用法及び用量】

下記量を1日2～3回経口投与する。

幼畜は下表の用量比にもとづき適宜減量する。

牛	10～50g
馬	7～35g
豚	2～10g
緬山羊	2～10g
犬	0.5～2.5g
猫	0.1～0.5g
鶏	0.05～0.25g

動物種	体重	用量比
牛・馬	300kg以上	1
	100～300kg	1/2
	100kg以下	1/4
豚・緬山羊	100kg以上	1
	30～100kg	1/2
	10～30kg	1/3
	10kg以下	1/5
犬	20kg以上	1
	5～20kg	1/2
	5kg以下	1/4
猫	3kg以上	1
	1～3kg	1/2
	1kg以下	1/4
鶏	大すう、成鶏	1
	中すう	1/2
	幼すう	1/4

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・変色が認められた場合には使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(対象動物等に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

1. 塩酸ベタイン

胃で加水分解を受け、徐々に塩酸を遊離し、持続的に酸性を保ち、有害細菌の活動を抑制し、耐酸性消化酵素の作用に適度な酸度を与え、消化を促進させる。

2. 含糖ペプシン

pH1～6の酸性域で作用するたん白消化酵素である。胃液中でよくたん白質を消化し、ペプトン等に変え、腸管内におけるたん白消化活動をより円滑にする。

3. でんぷん消化酵素

主に α -アミラーゼおよび β -アミラーゼを含み、さらにセルラーゼ、プロテアーゼ等を含みpH3.0～9.0の広い範囲にわたり強い消化作用を示す。

4. 繊維素消化酵素

pH2.5～8.0の広範囲にわたり繊維素消化作用を示し、結合性の強い繊維性物質も有効に利用される。

5. 糖化菌 (*Bacillus mesentericus* TO-A)

芽胞を形成し、酸、アルカリ、熱に強く、分裂増殖するとき、 β -アミラーゼを盛んに産生し、炭水化物の消化を促進する。

【包装】

10g×50包、10g×100包、30g×15包、30g×50包

【製品情報お問い合わせ先】

東亜薬品工業株式会社 学術営業部
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2丁目1番11号
TEL:03-3375-0511

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

製造販売元



東亜薬品工業株式会社
東京都渋谷区笹塚2丁目1番11号